



街の魅力を発信します

(6月1日)

市広報特派員の委嘱状交付が市役所で行われ、10人に市長から委嘱状が渡されました。市内で行われるイベントや、様々な事業、市内の四季の風景などを魅力的に情報発信していきます。取材した記事や写真は、広報紙・フェイスブック等で紹介します。特派員が取材の際にはぜひ声をかけてください。

今年度は 市地域公共交通計画を作成します

(6月2日)

市地域公共交通活性化協議会が市役所で開催されました。令和3年度は自主運行バス「すその一る」、民間路線バス「東急千福が丘線」の廃止等公共交通を巡る状況が大きく変わりました。4月1日(金)からは民間路線バス「市内循環線」が運行しています。将来の公共交通を考える重要な会議となり、今後は1年間かけて継続的な議論が続きます。



自身の考えを立派に主張

(6月4日)

わたしの主張裾野市大会が裾野市民文化センターで行われ、小中高生が日頃考えていることや、思いを発表しました。17人の小中高生が「あいさつができる小学校にしたい」や、ネット依存の問題について「メディアに使われるのではなくうまく使えるようになろう」など、学校生活や、社会問題について自分の考えや思いを堂々と発表しました。 特派員：勝又 慎二

水素を日常生活で使える社会へ

(6月4日)

水素を運ぶカートリッジの試作品の発表が、富士スピードウェイで行われました。これは、トヨタ自動車と子会社のウーブン・プラネット・ホールディングスが開発したもので、市内で建設中のウーブン・シティで実用化に向けた実証実験が行われます。

カートリッジは直径約18cm、全長約40cm。近い将来水素が身近に感じられる生活が訪れるかもしれません。





危険だと思ったらまずは避難 (6月5日)

土砂災害防災モデル地区訓練が、千福が丘町内会館と千福が丘小学校で行われました。土砂災害の避難指示発令により、避難指示対象地域の市民が、次々に町内会館へ避難を行いました。

訓練では、県の防災アプリを使った避難所のチェックインや燃料電池自動車MIRAIを使った給電なども行われ、新しい技術を使った防災訓練を体験しました。

一人で悩まず、「SOSの出し方」を学ぶ (6月6日)

SOSの出し方教室が須山中学校で行われました。健康推進課と学校教育課の共同事業で、保健師が講師となり市内の小学5年生、中学1年生を対象に実施し、自分や友達の良いところ探しや困ったとき、悩んでいるときに、どのようにSOSを誰に出したら良いのかを学ぶ機会となっています。生徒から「ストレスについて新しい情報を学ぶことができた」と感想が述べられました。



市営墓地にマリーゴールドを植栽 (6月8日)

市営墓地内のボランティア美化活動として、(社福)手をつなぐ育成会とNPO法人きゃべつくらぶおよび行政が連携し、マリーゴールドや菊の植栽を行いました。今回の作業は新型コロナウイルス感染状況により2年半ぶりに行われ、今回で16回目になります。晴天のもとみなさん汗を流しながら丁寧に苗を植え付けていました。

水しぶきをあげ歓声、プール開き (6月10日)

富岡保育園でプール開きが行われました。園長先生が9月のプール納めまで事故がないようにと安全祈願を行い、その後園児たちがクラスごとにプールへ入りました。初めはプールの中を歩いたりして徐々に水に慣れながら、最後は先生方と水をかけ合い、園児たちは大きな歓声をあげて喜んでいました。

